



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 日本調剤株式会社
 コード番号 3341 URL <http://www.nicho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三津原 博
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 鎌田 良樹
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-6810-0800

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	123,077	18.8	3,646	78.8	3,234	98.1	1,631	—
25年3月期第3四半期	103,596	7.9	2,039	△51.6	1,632	△57.1	△421	—

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 1,416百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △352百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	225.26	—
25年3月期第3四半期	△58.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	117,676	17,778	13.4
25年3月期	95,140	14,702	15.5

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 15,728百万円 25年3月期 14,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
26年3月期	—	35.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	166,196	19.2	6,881	112.0	6,413	124.6	3,290	—	455.29

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 長生堂製薬株式会社 、 除外 1社 (社名)
(注) 詳細は、添付資料3ページ 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	8,012,000 株	25年3月期	8,012,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	752,464 株	25年3月期	783,814 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	7,240,707 株	25年3月期3Q	7,198,192 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は完了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現在入手している情報による当社の判断及び仮定に基づく予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。またその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因により、これら業績予想等とは大きく異なる結果となる場合があります。

(2) 四半期決算補足説明資料の入手方法

四半期決算補足説明資料は、TDnetにて2月4日に開示し、当社ホームページへも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月～12月）における我が国の経済は、財政・金融政策の進展により、景気回復傾向が持続しておりますが、本年4月からの消費税率引き上げ以降の動向が懸念材料となっております。医薬品・調剤薬局業界におきましては、本年は薬価改定、調剤報酬改定のない年度であり、昨年度末から大きな変化はなく推移しております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高123,077百万円（前年同期比18.8%増）と増収となりました。利益面においては、営業利益3,646百万円（同78.8%増）、経常利益3,234百万円（同98.1%増）、四半期純利益1,631百万円（前年同期は四半期純損失421百万円）となりました。

事業の種類別業績概要は以下のとおりであります。

①調剤薬局事業

日本調剤株式会社による同事業では、当第3四半期連結累計期間において北海道2店、茨城県2店、埼玉県2店、東京都7店、神奈川県5店、山梨県3店、長野県1店、静岡県1店、愛知県2店、兵庫県3店、香川県1店、福岡県1店の合計30店舗を新規出店し、北海道1店、埼玉県1店、東京都3店、大阪府2店の合計7店舗を閉局いたしました。その結果、総店舗数は489店舗（物販専業1店舗を含む）となりました。同事業の業績動向としては、既存店及び前年度開局店舗の売上寄与により売上高108,575百万円（前年同期比11.3%増）となりました。利益面においては営業利益5,791百万円（同23.7%増）となりました。

②医薬品製造販売事業

同事業において、平成25年4月8日に長生堂製薬株式会社（徳島県徳島市）を子会社化し、日本ジェネリック株式会社と合せて事業規模を拡大いたしました。当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は17,275百万円（前年同期比109.8%増）となりました。利益面においては営業利益427百万円（同100.8%増）となりました。なお、当第3四半期連結会計期間末時点での販売品目数は580品目となりました。

③医療従事者派遣・紹介事業

子会社の株式会社メディカルリソースでは、薬剤師の派遣・紹介を中心に医師・看護師を含めた医療従事者総合人材サービス事業を運営しております。主要事業である薬剤師派遣が順調に推移しました結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高は3,763百万円（前年同期比26.9%増）となりました。利益面においては営業利益602百万円（同57.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は117,676百万円となり、前連結会計年度末に対して22,536百万円、23.7%増加いたしました。流動資産は56,699百万円となり、前連結会計年度末に対して13,662百万円、31.7%の増加となりました。主な要因としては、売掛金、原材料及び貯蔵品の増加等であります。固定資産は60,976百万円となり、前連結会計年度末に対して8,874百万円、17.0%の増加となりました。主な要因は、建設仮勘定の増加等あります。

負債は99,898百万円となり前連結会計年度末に対して19,460百万円、24.2%の増加となりました。主な要因としては、支払手形、買掛金、長期借入金の増加等であります。

純資産は17,778百万円となり前連結会計年度末に対して3,075百万円、20.9%の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

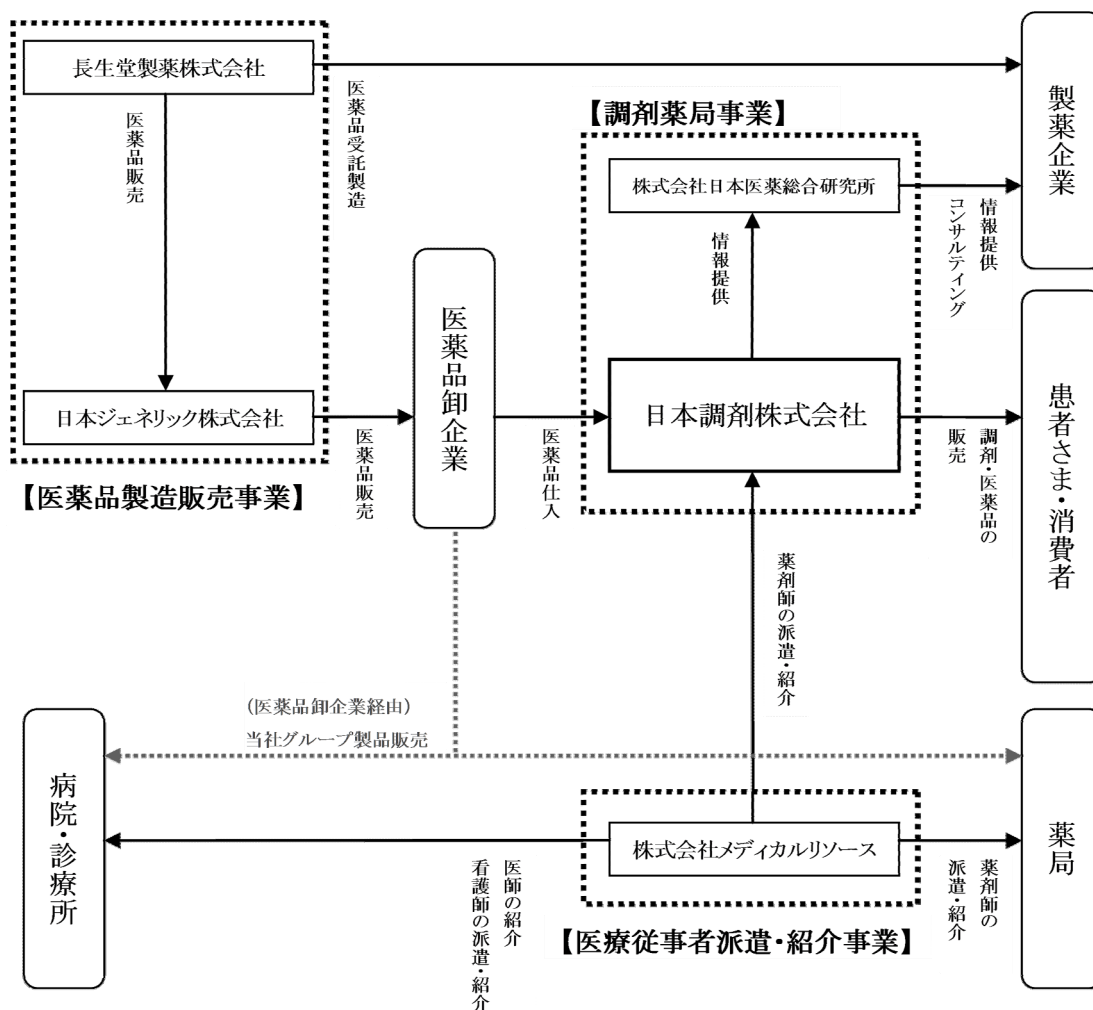
平成25年4月30日に公表いたしました平成26年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成25年4月8日に長生堂製薬株式会社の株式を取得し、第1四半期連結累計期間より連結の範囲に含めております。

当第3四半期連結会計期間末における当社グループの事業の系統図は、以下のとおりであります。



(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,583	17,016
受取手形	—	715
売掛金	13,645	18,136
商品及び製品	11,908	14,147
仕掛品	175	852
原材料及び貯蔵品	322	3,226
その他	2,410	2,614
貸倒引当金	△7	△8
流動資産合計	43,037	56,699
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,758	13,792
土地	13,215	15,271
建設仮勘定	1,180	4,140
その他（純額）	5,304	6,202
有形固定資産合計	32,459	39,406
無形固定資産		
のれん	7,724	8,974
その他	1,699	1,732
無形固定資産合計	9,423	10,706
投資その他の資産		
投資有価証券	1,199	926
敷金及び保証金	6,870	6,954
その他	2,149	2,982
投資その他の資産合計	10,219	10,863
固定資産合計	52,102	60,976
資産合計	95,140	117,676

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	—	2,466
買掛金	24,542	30,008
短期借入金	3,400	5,550
1年内償還予定の社債	—	7,092
1年内返済予定の長期借入金	10,665	3,589
未払法人税等	1,328	582
賞与引当金	1,556	889
役員賞与引当金	—	5
売上割戻引当金	243	229
その他	2,964	4,670
流動負債合計	44,702	55,086
固定負債		
社債	14,000	7,000
長期借入金	19,845	34,312
退職給付引当金	277	511
役員退職慰労引当金	683	1,257
その他	928	1,729
固定負債合計	35,735	44,811
負債合計	80,437	99,898
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,953	3,953
資本剰余金	4,754	4,754
利益剰余金	7,915	9,039
自己株式	△2,269	△2,188
株主資本合計	14,353	15,558
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	349	170
その他の包括利益累計額合計	349	170
少数株主持分	—	2,049
純資産合計	14,702	17,778
負債純資産合計	95,140	117,676

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	103,596	123,077
売上原価	87,752	103,941
売上総利益	15,843	19,135
販売費及び一般管理費	13,803	15,489
営業利益	2,039	3,646
営業外収益		
受取手数料	74	86
受取賃貸料	56	107
その他	177	186
営業外収益合計	308	380
営業外費用		
支払利息	440	531
支払手数料	23	50
その他	251	210
営業外費用合計	715	792
経常利益	1,632	3,234
特別利益		
固定資産売却益	6	17
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	6	19
特別損失		
固定資産売却損	0	—
投資有価証券売却損	—	0
減損損失	228	112
特別損失合計	228	113
税金等調整前四半期純利益	1,410	3,139
法人税、住民税及び事業税	707	1,252
過年度法人税等	1,034	—
法人税等調整額	90	291
法人税等合計	1,831	1,544
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△421	1,595
少数株主損失(△)	—	△35
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△421	1,631

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	△421	1,595
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69	△179
その他の包括利益合計	69	△179
四半期包括利益	△352	1,416
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△352	1,451
少数株主に係る四半期包括利益	—	△35

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結損 益計算書計上 額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	97,521	3,811	2,263	103,596	—	103,596
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4,421	702	5,124	△5,124	—
計	97,521	8,232	2,965	108,720	△5,124	103,596
セグメント利益又は損失(△)	4,679	212	382	5,274	△3,234	2,039

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△3,234百万円にはセグメント間取引消去△53百万円及び全社費用△3,181百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、店舗資産(9店舗)の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、228百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結損 益計算書計上 額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	108,574	11,625	2,877	123,077	—	123,077
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	0	5,650	885	6,536	△6,536	—
計	108,575	17,275	3,763	129,613	△6,536	123,077
セグメント利益又は損失(△)	5,791	427	602	6,821	△3,174	3,646

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△3,174百万円にはセグメント

間取引消去△19百万円及び全社費用△3,155百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、店舗資産(9店舗)の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては112百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、調剤薬局店舗の事業譲受によるのれんが増加しております。当第3四半期連結累計期間の増加額は1,121百万円であります。また、「医薬品製造販売事業」セグメントにおいて、平成25年4月に長生堂製薬株式会社の株式を取得して子会社化しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、489百万円であります。